



# 消防大学校だより



## 救急科における教育訓練

消防大学校では、救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を総合的に修得させるとともに、指導者としての資質を向上させる事を目的に、専科教育として「救急科」を設置しています。

本年度の救急科第86期は、全国から集まった48名が訓練の企画及び運営方法の習得、幹部職員としての必要な知識の習得、各地域での取り組みや課題についての情報交換などについて、課程全般において学生が主体となって自ら考え実践する教育訓練を行いました。

入校期間は8月28日から10月4日の38日間（8月28日から8月30日までリモート期間）にわたるものでしたが、48名全員が必要な課程を修了し卒業しました。

今回は、救急科において実施した「多数傷病者対応訓練」と「技能管理（訓練運営）」について紹介します。

### 1 多数傷病者対応訓練

消防大学校では、多数傷病者事案に関する講義（4時間）、シミュレーション訓練（3時間）、実動訓練（4時間）を通し、多数傷病者事案に対する活動全般の流れを確認するとともに、医療資源や地域性等が異なる消防本部の学生が合同で訓練を行い、検討会等で意見交換することにより自身のスキルアップはもちろんのこと、得られた知識・経験を各所属に持ち帰り地域住民の安心安全につなげることを目的として、多数傷病者対応訓練を実施しています。

多数傷病者対応訓練は「スクールバスと普通乗用車の事故による多数傷病者事案」という想定で、シミュレーション訓練を3回、実動訓練は杏林大学からDMAT医師、看護師及び調整係員に参加していただき、さらには杏林大学保健学部救急救命学科の学生25名に傷病者役等として協力していただきながら2回実施しました。消防とDMAT、大学生の3者合同訓練で、より現場に近い実践的な形で訓練を実施できました。



シミュレーション訓練



実動訓練

消防大学校の学生間では「これ程大規模に訓練できることがなく、大変有意義な訓練でした」、「災害時の全体像を把握することの難しさを知れました」、「自分の所属ならどうすべきか、持ち帰って検討したい」等積極的な意見交換が行われ、現場における指揮能力、部隊運用、医療との連携、トリアージ対応能力の向上等に努めました。



訓練後の全体写真

### 2 技能管理（訓練運営）

技能管理（訓練運営）は、訓練班として6班編成し、各地域の特色や訓練方法について意見交換を行いながら、時間管理や検討会運営を含め各班が作った想定での訓練を実施しています。

検討会を含めた訓練全体を評価する班を設定して全体を評価し、さらにその評価を含めた全てについて、救急救命東京研修所の徳永教授と支援教官2名が評価しフィードバックを行うという、指導救命士制度の骨子である屋根瓦方式の教育を実践しました。

終了後のアンケートでは、「シミュレーションの訓練企画を、指導的立場の方がどうやって企画進行していくかを詳細に教えていただいたことが良かった。」、「訓練を企画する要領や考え方を、各消防本部の違いも含めて学べて大変有意義でした。」、「技能管理（訓練運営）に向けて班員とたくさんの議論と検討ができたのは有益性が高かった。良い経験と知識の共有を深く感じることができた。」等の意見があり、所属に帰ってから、各種訓練に有効に活用していただけると考えています。

救急科第86期を卒業した学生は、消防大学校で修得した高度な知識・能力に加え、全国の仲間たちとの絆を活かして情報交換をし、各所属で幹部職員・指導的立場の救命士として救急業務に取り組みなど、様々な場面での活躍が期待されています。

## 査察業務マネジメントコースにおける教育訓練

消防大学校では、消防本部の予防業務を主管とする係長以上の者に対し、違反処理をはじめとする査察業務全般をマネジメントするために必要な知識及び能力の習得を目的に、「査察業務マネジメントコース」を実施しています。

令和6年度は、10月17日(木)から10月23日(水)までの5日間実施し、48名の学生が受講しました。

本コースでは、消防庁予防課による予防行政の動向に関する講義をはじめ、先進的な取り組みを行う消防本部から講師をお迎えし、査察計画や進捗管理、違反是正体制の構築等についてご講義いただきました。

また、今年は、マネジメントには欠かせない人材育成についての講義も取り入れました。

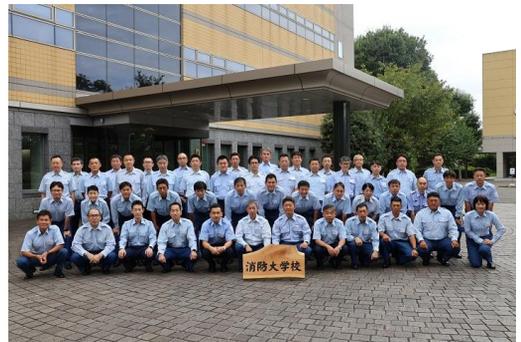
違反処理については、弁護士による法令解釈についての講義や、違反処理実績の豊富な消防本部及び違反是正体制の強化を図っている消防本部から講師をお招きし、その取り組みや体制強化の過程等についてご講義いただきました。

課題研究では、各消防本部が抱えている査察業務に関する問題等を持ち寄り、現在の社会情勢を踏まえた対応策等についての検討が行われました。発表には、4名の全国・都道府県違反是正支援アドバイザーを講評者に迎え、活発な意見交換が実施されました。学生からは、「アドバイザーの皆様からの貴重で的確なコメントが参考になった。」「課題研究を通じて多くの学生とコミュニケーションが取れた。」といった意見が寄せられました。



課題研究発表の様子

コース全体を通じて、「入校当初の目標を達成することができ、有益であった」との意見を多くの学生から聞くことができました。同じ悩みや課題を持った仲間が全国から集い、たった5日間の短期間ではありましたが、様々な意見を交わすことができたことは、大変貴重な経験であったと考えます。



集合写真

今後は、本コースで得た知識やネットワークを、それぞれの所属での業務に活かしていただき、指導者として、地域の安心・安全のために活躍されることを期待しています。

### 問合せ先

消防大学校教務部  
TEL：0422-46-1712